

事務事業評価資料

施策名		安全・安心な社会づくり（疾病対策等の推進）		所管部局課名	健康福祉部健康局疾病対策課・薬務課						
事業名		新型インフルエンザ対策の推進		担当者電話番号	疾病対策課感染症係 078-362-3264 薬務課薬事調整係 078-362-3268						
事業目的		新型インフルエンザの大流行（パンデミック）に備え、新型インフルエンザ対策計画に基づいた対策を推進し、県民の健康被害を最小限にとどめ、社会機能の維持を図る。									
事業内容		圏域事業（普及啓発講演会の実施等） 全県事業（抗インフルエンザウイルス薬の備蓄、医療体制の充実）			事業開始年度	平成21年度					
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額					
	事業費	(93,375 千円) 243,649 千円		(485,632 千円) 578,177 千円		(344,800 千円) 345,878 千円					
	人件費	13,554 千円	従事人員 1.6人	13,376 千円	従事人員 1.6人	13,126 千円	従事人員 1.6人				
	総コスト（+）	257,203 千円	従事人員 1.6人	591,553 千円	従事人員 1.6人	359,004 千円	従事人員 1.6人				
事業の目標		正しい知識の普及啓発			[目標設定理由]新型インフルエンザ発生時の適切な対応・正しい知識を普及啓発し、危機意識を共有する必要がある。						
		抗インフルエンザウイルス薬（タミフル、リレンザ）の備蓄			[目標設定理由]新型インフルエンザ発生に備え、本県の備蓄目標量に向け追加備蓄する必要がある。						
目標の達成度を示す指標		指標名		目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率（%）		
				目標値	年度				H20	H21	H22
		圏域協議会開催回数（圏域ごと）		3回	22年度	0 (0 千円)	3回 (1,348 千円)	3回 (981 千円)	-	100.0%	100.0%
		医療従事者研修開催回数（圏域ごと）		1回	22年度	0 (0 千円)	2回 (899 千円)	1回 (775 千円)	-	100.0%	100.0%
		新型インフルエンザ対策普及啓発事業開催回数		2回	22年度	0 (0 千円)	2回 (210 千円)	2回 (400 千円)	-	100.0%	100.0%
		タミフル備蓄量（累計）		1,041,300人分	23年度	458,000人分 (0 千円)	749,700人分 (2 千円)	895,500人分 (2 千円)	44.0%	72.0%	86.0%
リレンザ備蓄量（累計）		58,200人分	23年度	- (-)	29,000人分 (3 千円)	43,600人分 (3 千円)	-	49.8%	75.0%		
評価結果	必要性	・新型インフルエンザの大流行に備えて、国及び市町、医療機関等と連携しながら、正しい知識の普及啓発や地域の初動体制の構築、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を図り、早期に、県民の安全・安心対策を推進する必要がある。									
	有効性	・新型インフルエンザの大流行に備えて、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を進めており、医療体制の充実について着実に成果があがっている。									
	効率性	・タミフル及びリレンザの購入価格は、年度内は全国的に同一価格であり、指標1単位あたりのコストは適切である。									
	民間・市町との役割分担	・国や県の新型インフルエンザ対策行動計画や「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において県の役割が規定されており、広域的、専門的な立場からも県が実施すべき業務である。									
	受益と負担の適正化	・国や県の新型インフルエンザ対策行動計画や「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において県の役割が規定されており、広域的、専門的な立場からも県が実施すべき業務である。									
実施方針	方向性	新規	拡充	（継続）		実施手法の見直し					
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他			
説明	<p>新型インフルエンザのパンデミック（大流行）時に被害を最小限にし、社会機能を維持するため、「新型インフルエンザ対策計画」に基づき、対策圏域協議会・研修等のソフト事業を継続実施。</p> <p>また、抗インフルエンザウイルス薬を21年度から3ヶ年で追加購入・備蓄する。</p> <p>〔タミフル：既備蓄分458,000人分 追加備蓄583,300人分 計1,041,300人分〕 〔リレンザ：既備蓄分なし 追加備蓄 58,200人分 計 58,200人分〕</p>										